



TABLE FOR TWO ANNUAL REPORT 2013



C O N T E N T S

1.	About TABLE FOR TWO	... 3
2.	TABLE FOR TWO Program -日本での取り組み-	... 6
3.	TABLE FOR TWO Program -世界への広がり-	... 15
4.	School Meal Program -学校給食がもたらすもの-	... 20
5.	TABLE FOR TWO Team -団体概要-	... 25

TABLE FOR TWO International 代表理事
小暮 真久



日頃よりTABLE FOR TWOの活動にご参加・ご協力いただき、ありがとうございます。理事及び事務局を代表し、心から御礼を申し上げます。

2013年は、より多種多様な場を通してより多くの人々にTABLE FOR TWOプログラムにご参加いただけるようになったと実感しております。これまでの社員食堂や学生食堂でのご参加だけでなく、全国展開するレストランや、ご家庭でのケータリング、映画など、TFT設立時には想像できなかった場で、プログラムが実施されるに至り、嬉しい驚きとなりました。

TFTが支援する地域も、これまでのサハラ以南アフリカの国々に加え、ミャンマーでアジア第一ヶ国目となる支援が始まりました。学校給食を支援する小学校で、日本のお弁当を子どもたちと一緒に作るイベントを行ったのですが、一緒にお弁当を作りながら、子どもたちが大いに喜び楽しむ姿を見て、強く心を動かされました。日本では当然とされている、「食の見た目の美しさ」や「食事を楽しむこと」が、ミャンマーの子どもたちにとっては、とても新鮮だったようです。この機会を通し、改めて食がもたらすものは、カロリーだけでは留まらないと再確認しました。

支援先において、このような変化を目にすることができるのは、皆さまからいただくサポートのおかげに他なりません。今年度もTFT一同、さらにパワーアップして邁進していきたいと思っておりますので、引き続き温かいサポートをいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。同時に皆様のよりヘルシーな食生活と健康増進を祈念して、ご挨拶に代えさせていただきます。

1 ABOUT TABLE FOR TWO

世界に存在する皮肉な事実。
貧困のために、飢餓や栄養失調に苦しむ10億人。肥満や生活習慣病に苦しむ10億人。

偶然ではなく必然的に起きている、地球規模の食の不均衡。
この問題を解決するアプローチの一つが、TABLE FOR TWOの活動です。



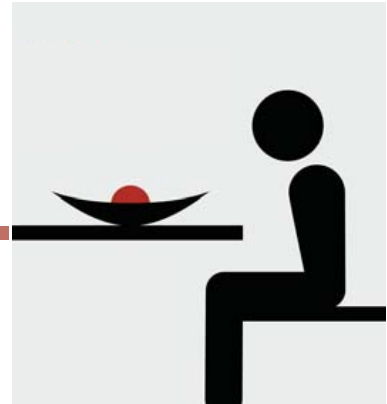


WHY TABLE FOR TWO?

-TABLE FOR TWOの意義-

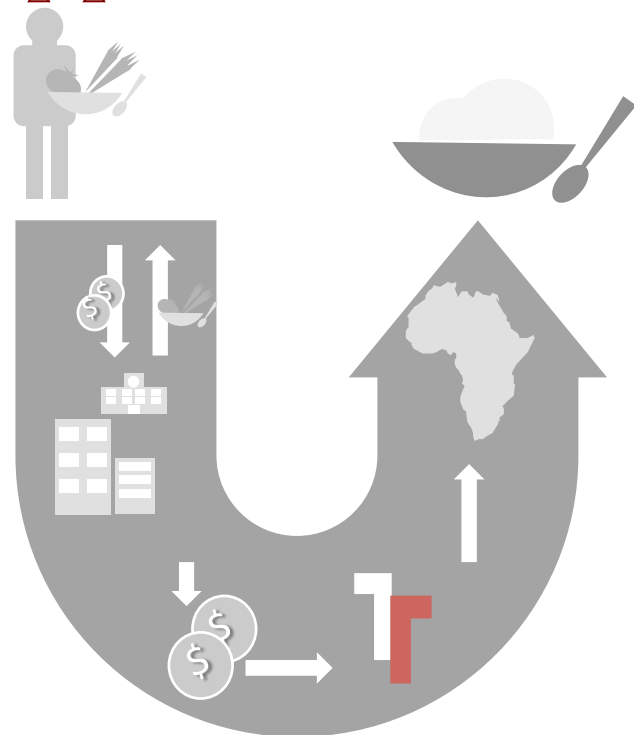
世界人口約70億人のうち、約10億人が飢餓・貧困に苛まれている一方で、10億人以上が飽食社会の中で肥満・生活習慣病に苦しんでいます。TABLE FOR TWO(TFT)は、食の不均衡を解消し、開発途上国と先進国双方の人々の健康を同時に改善することを目指す日本発の社会事業です。

TFTプログラムでは、肥満や生活習慣病予防のためにヘルシーな食事をとることで、開発途上国に暮らす子どもたちへ温かな学校給食を届けることができます。私たちはTFTの仕組みを国内外に広げることで、世界の飢餓・栄養失調と肥満・生活習慣病の解消に貢献します。



HOW DOES IT WORK?

-TABLE FOR TWOプログラムの仕組み-



- 1 TFT対象のヘルシー志向のメニューや食品をご購入いただく
- 2 1食につき20円(または数%)の寄付金がTFT事務局に寄せられる
- 3 20円の寄付金で、東アフリカ、アジアの小学校に1食の給食が届く

※寄付金のうち最大20%をTFT事務局の運営費に充てています。

WHERE IS IT IMPLEMENTED?

-TABLE FOR TWOプログラムの分野-

TFTプログラムは、社員食堂・学生食堂やレストランをはじめとし、様々な食関連の場へ広がりを見せています。

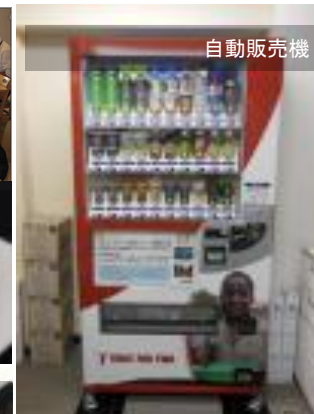
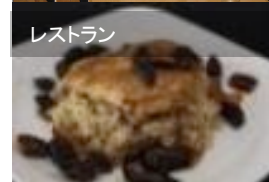
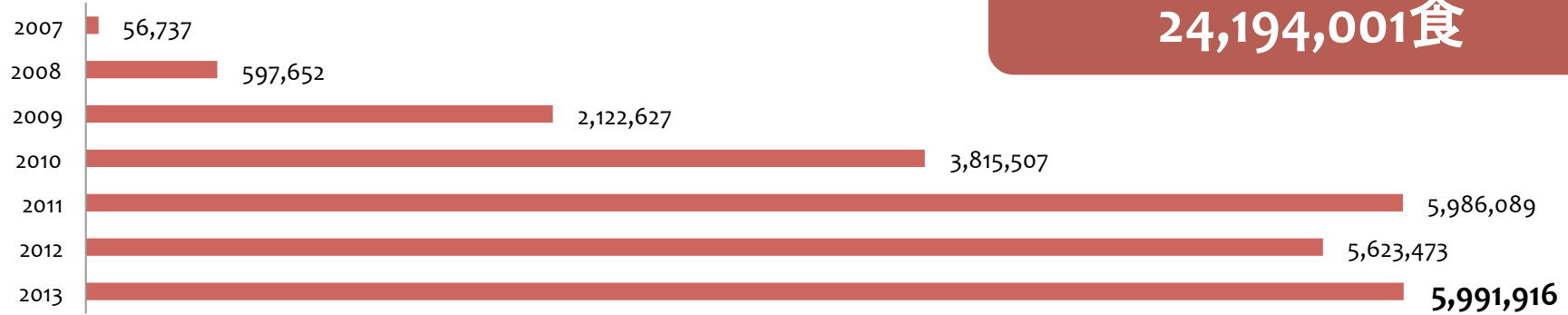


TABLE FOR TWO IN JAPAN

-TFTプログラム日本での広がり-

TFTがこれまで届けた寄付食数（各年総計、ご寄付額を1食20円で換算）



累計寄付食数（2013年12月末日時）

24,194,001食

TABLE FOR TWO AROUND THE WORLD

-TFTプログラム世界での広がり-

TFTご参加団体数（2013年12月末日時）





2 TABLE FOR TWO PROGRAM

—日本での取り組み—

日本には古来より、食への感謝を表す「いただきます」や「ごちそうさま」、食べ物を無駄にしない「おすそわけ」という概念が存在します。TABLE FOR TWOプログラムは、現代の社会に暮らす人々が忘れがちな精神を体現しています。

2 TABLE FOR TWO PROGRAM

TABLE FOR TWOの6年間

2007年秋に創設された、TABLE FOR TWOも、2013年で6年目を迎えることができました。社員食堂から始まったプログラムは、先進国や開発途上国において、様々な形へ進化を続けています。



2008 食堂プログラム本格スタート

TFTのコンセプトは2007年に生まれ、数社での試験導入とNPO法人登録を経て、社員食堂でのプログラムが2008年に本格スタートしました。数社の参加で始まったTFTプログラムは、同年4月の「メタボ検診」導入をきっかけに、参加団体数が増えました。

2009 世界食料デーキャンペーンスタート

10月16日は国連の定めた「世界食料デー」。100万人にTFTメニューを召し上がっていただき、100万食の給食を届ける「100万人のいただきます！」キャンペーンを開催しました。食堂を中心に広がってきたTFTが、外食店や小売店に拡大するきっかけになりました。



2010 給食プログラム支援地域の拡大

日本国内でのTFTプログラム参加団体が増え、エチオピアとタンザニアでも給食を提供できるようになりました。プログラム導入をきっかけに支援地では、親や地域住民が教育と給食の大切さを実感するようになってきました。またこの頃から、学校給食で使われる野菜を育てる学校菜園プログラムも始まりました。



2011 家庭でできるTFT@HOME

食堂やレストランだけでなく、家庭でも参加できるTFT@Homeが広がってきました。人気のTFTメニューを集めたレシピ本、毎日の食事を記録できるiPhoneアプリ、オリジナルレシピを投稿するだけで寄付につながる楽天レシピなど活動の輪が広がりました。



2012 日本から世界へ

TFTは日本発の社会貢献イニシアチブとして、世界に活動の輪を広げています。米国、ノルウェー、香港などで現地チームが結成され、グローバル展開の準備が整ってきました。



2013 ミャンマーでの学校菜園プログラム支援スタート

2013年は、アジアで最初の支援プログラムとなる、ミャンマーでの学校菜園プログラムを開始しました。ミャンマーを含む東南アジア諸国では多くの家庭が日々食べるものには困っていませんが、まだその栄養バランスや、生産する仕組みに課題が多く残っています。そのような状況を改善すべく、TFTが第一歩目を踏み出しました。



2 TABLE FOR TWO PROGRAM

食べる - 社員食堂 -



東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 TFT推進チームがポスターに登場し、社内PRを実施



日本ガイシ株式会社 TFTプログラムを導入して3年で10万食寄付を達成。社員が登場するオリジナルポップを製作し食堂に設置。



オリンパス株式会社 TFT向けに特別にデザインされたミネラルウォーター

TFTプログラムを実施いただいている食堂では、以下のガイドラインに基づいたTFTヘルシーメニューが提供されています。

TABLE FOR TWOヘルシーメニュー・ガイドライン

1. 一食当たりのカロリーが通常よりやや低く抑えられている*
デスクワークが主となる職場の食堂: 730kcal程 (680-800kcal)
工場や軽作業を伴う職場の食堂: 800kcal程度 (720-870kcal)

2. 栄養のバランスが取れている

3. 野菜を多く含む

*厚生労働省の定める「日本人の食事摂取基準(2010年度)」を参照。一日の運動量により幅があります。

社員食堂

TFT設立から6年目を迎え、多くの企業がTFTプログラムを継続して下さっています。TFTメニューを召し上がる方がプログラムへの理解を深め、積極的に参加できるように様々な工夫がうまれています。

自動販売機

社員食堂がない企業でTFTプログラムに参加する方法として生まれたのが、自動販売機版TABLE FOR TWOプログラム”CUP FOR TWO”です。参加企業オリジナルのTFTドリンクをCUP FOR TWO対象とする企業もあります。

食べる - レストラン -

2013年末時には、TFTプログラム導入飲食店数も100を超え、分野も多岐に渡っています。



Café & Meal MUJI



讃岐 釜揚げうどん
丸亀製麺

社員食堂から始まったTABLE FOR TWO プログラムは、より多くの方々に多彩な機会を通して参加いただけるようになってきました。

2013年には、全国展開をするレストランチェーンでTFTプログラムが始まりました。Café & Meal MUJI 全国17店舗では、2013年5月からTFTプログラムが導入されました。デリメニューを選び精算する際、レジに設置してある「寄付金プレート」を提示し、通常価格に20円追加することで、TFTプログラムへご参加いただけるようになりました。寄付金プレートを選んでTFTプログラムへ参加してくださる方が多数いらっしゃるそうです。

一方、讃岐うどん専門店「丸亀製麺」では2013年4月から、国内約800の全店にて小麦と水と塩だけを使用して作る釜揚げうどん1杯ごとに1円がTFTへ寄付される、という取り組みがスタートしました。もともと干ばつの多い讃岐地方では、米の裏作として栽培された小麦が食事の中心となり、うどん文化が発展したと言われています。讃岐うどんを通じて、温暖化や干ばつの影響で食の危機にさらされているサハラ以南アフリカをはじめとした地域に支援を届けたいとの思いで、プログラムが始まりました。

他にも、インド料理や中華料理、スペイン料理、フランス料理など、様々な分野のレストランで導入されています。

食べる 様々な場面で-

TFTプログラムへ参加できる場合は、社員食堂やレストランだけに留まりません。食材やお弁当の購入、家族や友人と特別な機会を過ごしなが、自らの健康に気を配り、開発途上国の子どもたちへ給食をとどける仕組みが広がっています。



HOME PARTY FOR TWO

女性向け出張シェフサービスMyChefでは、ホームパーティ料理でのTFTプログラムが開始されました。出張シェフがお客様に代わって食材の購入から後片付けまで行うこのサービスでは、小さいお子さんのいる家庭でも気軽に本格的な料理を楽しみながら、TFTに参加できるようになりました。



ウェディング

「幸せのおすそわけ」をテーマに、結婚式でヘルシーなコースメニューや前菜でおもてなしをして、TFTへのご寄付をお寄せくださるカップルや式場が増えています。

Oisix

自宅にいながらTFTに参加することもできます。Oisixでは、ミネラルウォーター、野菜ジュース、豆腐ベークが対象となっています。食料デーキャンペーンでは、親子で楽しめる、シール付きTFTハロウィンかぼちゃが販売されました。



NEWDAYS

第5弾となるTABLE FOR TWOキャンペーン「カラダにいいコト ココロにいいコト LOVE&EAT for Africa」(2013年1月15日~2月4日)が開催されました。今回もおにぎり・パン・サンドイッチなどがTFTへの寄付つき商品として展開されました。



ごちクル

お弁当 & ケータリングの総合サイト、ごちクルのTFT弁当がNext Leaders Meeting 2013にて提供されました。2014年以降もTFT弁当が販売されています。



高政

宮城県女川町の蒲鉾本舗 高政でもTFTプログラムが始まりました。かまぼこ詰め合わせを購入すると、一箱につき60円がTFTへ寄付され、ミャンマーの給食プログラムの支援に充てられます。

ガトウ！チャ

高島屋のオンライン及びカタログ通販で、2012年に続き、TFTスイーツ「ガトウ！チャ」が販売されました。人気パティシエ、高木康裕さんによる創作スイーツ「ガトウ！チャ」は、生地に大豆を使用するなど、ヘルシーな素材にこだわった焼き菓子です。



Takashimaya

楽天レシピ



楽天レシピ

「楽天レシピ×TABLE FOR TWOプログラム」では、料理レシピ検索サイト・楽天レシピで「つくったよレポート」を2件投稿すると、開発途上国の子どもたちに給食を1食届けられるプログラムがスタートしました。

参加する -世界食料デーキャンペーン-

毎年10月16日は国連が制定した「世界食料デー」です。TABLE FOR TWOでは、2013年10月16日から11月末までの約1ヶ月半、「100万人のいただきます！」キャンペーンを実施し、レストランやコンビニエンスストア、社員食堂などにおいて、様々な商品展開やイベントを開催しました。



大丸松坂屋百貨店

大丸松坂屋百貨店
松坂屋名古屋店の館内レストラン・カフェ21店舗や複数の従業員食堂で、TFT寄付つきメニューが販売されました。名古屋の百貨店へのTFT導入は初の取り組みで、TFTの大学生サポーターとも連携したPR活動を推進しました。対象メニューをお召し上がりいただいたお客さまに、1食毎に20円のご寄付を呼び掛け、途上国に暮らす子どもたちの給食となりました。



あなただけに、
FamilyMart

ファミリーマート
脂肪分ゼロのヘルシーフルーツグミ「ナチュリア ピンクグレープフルーツ」が全国のファミリーマート約9,900店舗で販売されました。アフリカ産ピンクグレープフルーツ果汁100%（生果汁換算比）を使用したグミを購入いただくと、売上の3%がアフリカの子どものための学校給食に寄付されるという仕組みです。



女川 お魚いちば 寿司・鮮魚おかせい
「TABLE FOR TWO 腹八分目女川井」が販売されました。宮城県女川町で水揚げされた新鮮な魚介類がふんだんに盛りつけられたこの井は、通常の井よりもご飯の量が八分目になっている腹八分目井です。1食につき50円がミャンマーの給食プログラムへ寄付されました。



ええ、太りました。入社してから10キロほど。スポンのチャックが破裂して安全ピンで留めていたりします。だからって酷くないですか。社食のTFTメニューを2週間も食べなきゃだなんて。でも正直、開発途上国へ寄付されるとしかりませんでした。僕はすごくヘルシーなんです。僕らがカロリーをおさえた分、1食で20円が寄付されて子どもたちの給食になる。社会だけにじゃなくて自分のカラダにも貢献できる仕組み。こりゃ電通人にぴったりだ。だからって酷いと思います。逃げないようにFacebookへの連載も義務づけるだなんて、こうなりや毎日4階で寄付してスリムになりますよ。大物ゲストも巻き込んでTFTメニューで、さよなら。安全ピン。

今日のお昼からは始める社会貢献。

TABLE FOR TWO

dentsu.socialで連載を検索!

dentsu

株式会社電通
カロリー、キフ!
電通のエントランスロビーで、NGO/NPOと電通社員の方々と繋げる「NGO/NPO×電通人 世界の食問題にGood Innovation.」が開催されました。コピーライター橋本新さんが、TFTメニューを食べるダイエット企画「カロリー、キフ!」に取り組みました。世界食料デーキャンペーン期間中の2週間に渡り、社員食堂にて毎日昼食時にTFTメニューを食べ、4kgもの減量に成功しました。

さらに広がるTFTプログラム



MOVIE FOR TWO

映画鑑賞するだけで社会貢献ができる、「MOVIE FOR TWO」プログラムがスタートしました。食をテーマにした映画を観ると、その映画チケット1枚につき20円が寄付金となります。

第一弾のMOVIE FOR TWOプログラムには、世界的な食料廃棄問題を取り上げたドキュメンタリー映画「もったいない！」が参加しました。第二弾は、2013年10月に開催された、第4回東京ごはん映画祭の特別イベント「ごはんつき上映会」で実施されました。人と食との繋がりを見つめ直すドキュメンタリー映画「eatrip」をはじめ8作品のごはんつき上映会にて、参加者1名につき20円がTFTへの寄付となり、映画鑑賞、食、TFTプログラムを一度に体験することができる、新感覚の参加方法が実現しました。

J-WAVE special

HOPE ON THE EARTH

10月15日の「世界手洗いの日と、16日の世界食料デーに際し、ラジオ特番「J-WAVE special HOPE ON THE EARTH Global Health Edition」が放送されました。世界と日本の食料事情、そして食と同様に大切な衛生事情の現状を知り、その瞬間に失われていく命をつなぐ様々なアクションを紹介するプログラムで、TFT代表小暮がナビゲーターを務めました。



料理教室

Oisix・(社)日本ナチュラルビューティスト協会・TFTの3団体で健康と社会貢献をテーマにした料理教室を開催しました。2013年には料理教室を計3回開催し、アンチエイジングに効果的な「酵素ダイエットプログラム」の解説と、Oisixの新鮮野菜を用いたアフリカ学校給食メニューの調理が行われました。参加費4,000円のうち、500円がアフリカの子どもたちの給食25食分(約1か月分)となり、「自分が綺麗になれる食べ方」と「時空を超えて分かち合う社会貢献」を、同時に実践する場が生まれました。



PEOPLE MAGNET TV

「アイデアが世界を変える。カッコいい社会貢献」をキャッチコピーに、世界の著名人が取り組む活動や社会を変えるアイデアなど、新しい形の社会貢献を提案する番組「PEOPLE MAGNET TV」が放映されました。ウェブサイトでは、TFT代表・小暮と内田恭子さんや伊勢谷友介さんとのトークセッションや、世界のソーシャルビジネス最前線の取り組みが紹介されました。



大学生の活躍

全国の大学で TFTプログラム導入中

全国100大学でTFTプログラムが導入され、約1,500名の大学生たちがTFT大学連合のメンバーとして活動しています。全国の大学の学食やイベントを通じて、1年間で35万食以上の給食が届けられました。

学生食堂でのTFTプログラム導入や大学での啓発活動を行う、TFT University Association (TFT-UA, 大学連合) が中心となり、大学生たちが各地で活躍しています。



世界食料デー2013

10月～11月の世界食料デーキャンペーン期間中も、大学生が中心となって様々な企画を実施しました。グローバルフェスタへの出展、ハロウィンをモチーフとした子ども向けの食育イベント、TFT専用のお弁当の企画・販売などを行いました。



カラダがヨロコブ ヘルシーメニューフェア

2013年1月17日～2月28日に全国11店舗のPARCOで心と体に優しいTFTヘルシーメニューの販売を行い、およそ18,700食の学校給食を届けました。東京や札幌、仙台、福岡など、全国のPARCOの近隣大学に在籍するTFT大学連合と各店舗が連携し、企画を盛り上げました。

FUTSAL FOR TWO

2010年にスタートした、チャリティーフットサルイベント「FUTSAL FOR TWO」の第6、7回大会を実施しました。フットサルで消費したカロリーを開発途上国の子どもたちへ贈る、というコンセプトの下、各回200名近い参加者が集まり、大きな盛り上がりを見せています。

2013年 受賞歴

ファンドレイジング・日本2013
日本最大級のファンドレイジングイベント「ファンドレイジング・日本2013」にて、第4回ファンドレイジング大賞を受賞しました。



日経ソーシャルイニシアチブ大賞
第1回日経ソーシャルイニシアチブ大賞では、「国際部門賞」を受賞しました。TFTのコンセプトがユニークで画期的である点が高く評価されました。（主催・日本経済新聞社）



THE ASIAN AWARDS

ロンドンで発表された THE ASIAN AWARDSで、アジアNo.1の社会起業家に選出され、日本人としては初の「社会起業家部門」で受賞しました。



Sustainable Entrepreneur Award
4月10日ウィーンで発表された“Sustainable Entrepreneur Award”にて“Lifestyle & Culture部門”を受賞しました。





3 TABLE FOR TWO PROGRAM

ー世界への広がりー

食べ過ぎや、肥満が社会問題となっているのは、日本だけではありません。日本発のTABLE FOR TWOプログラムは、北米、東アジア、ヨーロッパ、中東でも導入されています。

3 TABLE FOR TWO PROGRAM

北アメリカ

TABLE FOR TWO海外進出の1ヶ国目であるアメリカ。特に両海岸エリアでは、健康志向かつ、生産方法へも配慮する消費者が増えています。消費者意識の高まりによって後押しされているアメリカの食関連市場において、TFTの仕組みが広がっています。

アメリカのグルメ・スーパー Whole Foods Market 160店舗以上で寿司バーを展開する、Genjiとのコラボレーション企画を実施しました。2013年10月にTFTロール(Browns Rice Quinoa Avocado Cucumber Rolls)が販売され、約7,500食の学校給食をアフリカの子どもたちへ届けることができました。このキャンペーンはアメリカ全土で展開される初のキャンペーンとなりました。



New York

ニューヨーク市内・周辺に4店舗を展開するお弁当屋BentOnの、マンハッタン店にTFT対象のお弁当を販売するTFTステーションが設置されました。ヘルシーかつ栄養価に富んだTFT Bentoの販売はもちろん、TFTポスターも展示されています。



Davis

3) 2012年から、カリフォルニア大学デビス校学内のレストランGunrock PubでTFTメニューが提供されています。2013年6月には新メニュー販売を記念し、大学マスコットキャラクターのGunrockがTFTメニューを堪能しました。

Daiei Tradings. Co

4) プレミアム米「かがやき」がTFT商品として期間限定で販売され、6,000食分の給食がアフリカへ届けられました。



サンフランシスコを拠点とするSelfless がデザインしたTFT Tシャツを期間限定で販売し、約3,400食分の寄付が集まりました。

San Diego

1) San Diego Cooperative Charter Schoolの学生たちが、TFTサラダバーを設置する企画を行いました。毎週火曜日にサラダバーを食べると25セントがTFTへ寄付されます。

San Francisco

2) TFTのサンフランシスコ支部はIntermos Wine Caféで“Drink for Two”というイベントを開催し、このイベントを通じて2,000食の給食を寄付しました。

3 TABLE FOR TWO PROGRAM

アジア

Korea

10月の世界食料デーにあわせ、韓国人気チェーン店“Mad for Garlic”にて1ヶ月間TFTキャンペーンが実施されました。



Vietnam

ベトナムのホーチミン市にある和食・炉端焼きレストラン「あん」にて、TFTランチが始まりました。ベトナム第一号のTFT参加レストランです。

アジアでも、TFTの広がりは加速を見せています。健康増進への関心が高まりつつあるアジア諸国では、まだまだその勢いは止まる様子がありません。

A MEAL FOR A MEAL

「以餐換餐」

15/07 - 16/08

745 NUTRITIOUS MEALS DONATED - THANK YOU!!
捐出了745份營養餐, 多謝你哋嘅支持!!

Hong Kong

TFT香港では10月の世界食料デー期間に、“Bite For Change”キャンペーンを実施し、23のレストランでTFTメニューが提供されました。また、香港のヘルシー飲料メーカー「Punch Detox」、広告代理店「Go Public Interactive Agency」との協働により、“Punch out hunger!(貧困をやっつけろ)”キャンペーンが9月に実施されました。Punch Detoxのヘルシー飲料を一本購入すると、貧困率の高い中国西部の農村地域の子どもの温かい給食が届けられます。

طاولة لشخصين

وجبة صحية.. لك ولهم.

ساعد

Middle East

中東地域初のTFTパートナー・Tamer Groupの本社（サウジアラビア・ジェッダ）でもTFTプログラムが導入されています。”A healthy meal... for you & them”というメッセージの下、2012年11月からTFTプログラムに参加しています。

3 TABLE FOR TWO PROGRAM

ヨーロッパ

食文化が成熟し、生産から廃棄まで食のバリューチェーンへの関心が高いヨーロッパでも、TABLE FOR TWOプログラムが広がり始めています。



Norway

オスロのLovisenberg Diakonale病院はTFTメニューの人気は不動のものとなっています。栄養士のMaren Komperødさんから、「病院という、栄養や健康に携わる場でTFTの活動することは、とても意義があります。助けを必要とする人に支援が届くのを見ると、勇気づけられます。」とのメッセージをいただきました。



Netherlands

11月、オランダのRSM Business Schoolで開催されたインターナショナルフードフェスティバルで、各国の料理を販売し、収益の一部がTFTへの寄付となりました。



United Kingdom

日本の野村グループでのTFTプログラムへの取り組みがきっかけとなり、Nomura UKでもTFTプログラムが導入されています。



France

11月にEdenred Groupが主催するEdenred Group's dayにTFTフランスチームが参加し、“Eden for all” イベントを開催しました。社員の皆さんがTFTメニューを召し上がってくださり、4,000食分の寄付を集めることができました。



Switzerland

1月にスイス・ダボスで、世界経済フォーラム年次大会の一環としてJapan Nightが開催されました。「世界に貢献する日本」「世界をリードする日本」というメッセージを世界に向けて発信するための場で、TFTの取り組みが日本発の社会貢献活動として紹介されました。

先進国や新興国にも潜む“栄養不足”

「飢餓」は、サハラ以南アフリカ諸国のような、開発途上国だけの問題ではありません。新興国の中にも貧困が存在し、日々健康的な食事を取ることにできない子どもたちが、未だ多くいる現状があります。また、先進国では貧困層ほど安価なファーストフードを食べる傾向があり、その結果肥満と栄養不足の同時進行に悩む人々が増えています。



Baojia小学校に通う1~6年生までの生徒335人へ、学校給食を提供しています。これまでの学校給食では、おかゆ、インスタントラーメン、米粉でできた餃子が主でしたが、栄養価を向上させるため、タンパク質をより多く含んだ給食を提供しています。(TFT香港が実施)



ニュージャージー州Dr. Lena Edwards Academic Charter Schoolに通う385人の生徒、ニューヨーク州Harlem Prepに通う401人の生徒を対象に、健康的な学校給食をサポートしています。既存の給食をより健康的な給食に改善するための差額費用をTFTが支援しています。(TFT USAが実施)

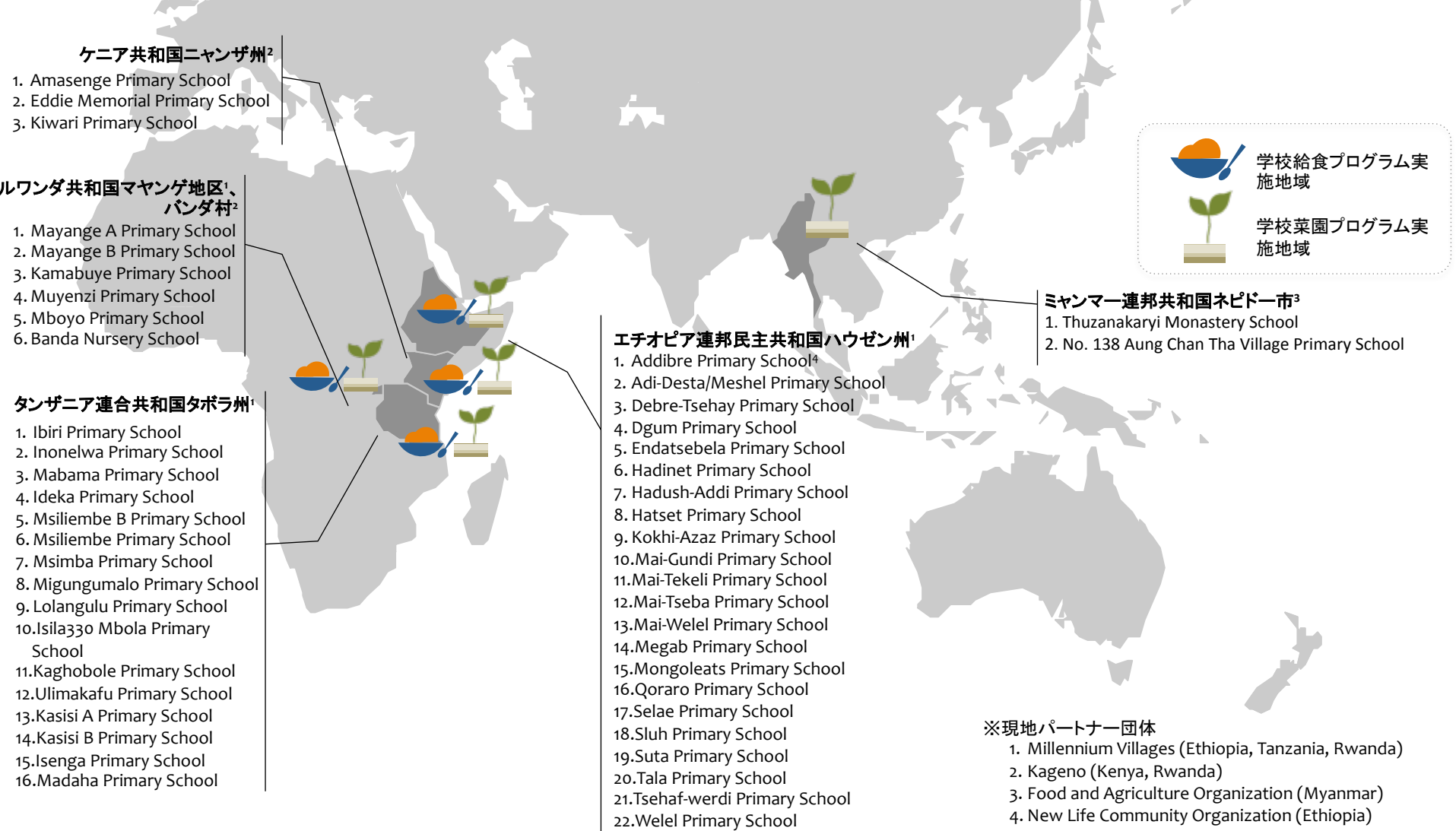


4 SCHOOL MEAL PROGRAM

—学校給食がもたらすもの—

先進国でTFTのヘルシーメニューを食べることで、その一食がアフリカやアジアで温かな学校給食に生まれ変わります。

アフリカ・アジアでの給食は大きな役割を果たしています。子どもたちの健康状態を改善するだけでなく、お腹が満たされることで学業にもより集中できるようになり、また学校給食の運営を通して、コミュニティの大人たちの教育や健康などに対する姿勢にも変化がみられるようになってきています。



TFTが給食を届けている地域

この6年で給食プログラムは大きく発展を遂げてきました。

サハラ以南アフリカでは、4ヶ国46学校およそ28,400人の生徒、東南アジアでは1ヶ国2校およそ230人の生徒へ、学校給食を届け、学校菜園を通した持続可能な生産をサポートしています。

サハラ以南アフリカ

2013年、TABLE FOR TWOはサハラ以南アフリカの4ヶ国で、学校給食を届けました。学校給食は、就学率や出席率の向上など大きな効果をもたらします。

ETHIOPIA

ティグライ州コロロ地区

コロロ地区の学校給食プログラムでは、通常の給食(きな粉のようなトウモロコシ大豆ブレンド粉)に加え、週に数回マンゴーやグアバなどの果物が提供されています。エチオピア政府から派遣された農業専門家からの指導を受けた地元農家が、給食用に果物を提供し、また販売収入の一部も給食に寄付する取り組みも始まりました。



KENYA

ニャンザ州ルシंगा島 ムファンゴ島

ビクトリア湖上に位置する両島では、日々満足な食事をとれない家庭も多い中、学校給食を提供しています。周辺地域やケニア国内で生産された原材料を用いて給食が提供されています。

RWANDA

ニュングウェ国立公園バンダ村

バンダ村に新しい給食室が建設されました。これまで、2つの簡素なかまどで約300人の幼稚園児への給食が調理されていましたが、給食室が新設されたことによりかまどが大小4つに増え、小・中学生を含む2,200人以上に給食を提供できるようになりました。



TANZANIA

タボラ州ムボラ地区

ムボラ地区の小学校では、バラエティに富んだ給食が提供されています。トウモロコシの粉でできたウガリを主食とし、豆やトマト、葉物野菜等の入ったスープ、オレンジやバナナ等のフルーツ、小魚などが提供されています。学校給食は出席率の増加や中退率の低下に貢献しています。

4 SCHOOL MEAL PROGRAM

東南アジア

これまでTABLE FOR TWOでは、“extreme poverty(極度の貧困)”と呼ばれる、食料や安全な飲み水、医療、教育など、人間が生きて行くために最低限必要なベーシックヒューマンニーズ(人間の基本的諸要件)を満たすことができない人々へ、食料支援を行ってきました。

一方、サハラ以南アフリカだけでなく、アジアやラテンアメリカでも、貧困ライン以下の生活を余儀なくされる人々が多く暮らしています。そのような地域では、食料の生産システムの整備が進んでいない現状があります。

MYANMAR ネピドー市

2013年6月から、国際連合食糧農業機関(Food and Agriculture Organization, FAO)との協働で、ネピドー市近郊のトゥザナカリ僧院学校と138番アンチアンダ村小学校にて学校菜園プロジェクトを支援しています。

急速な経済発展を遂げるミャンマーですが、国内の所得格差の拡大や、食料価格の高騰が問題となっています。この学校菜園プロジェクトでは、小学校(僧院)に学校菜園を設置し、野菜を安定的に収穫できる環境を整えることを目標としています。菜園ではとうもろこしやかぼちゃ、豆、マッシュルームなどを栽培し、収穫した野菜を学校給食に用いています。



ANA成田-ヤンゴン線でTFTヘルシービスケット提供

TFTによるミャンマー支援開始を記念し、全日本空輸株式会社(ANA)が、成田-ヤンゴン線にてTFTの寄付つきビスケット「ZEROビスケット<ココア>」(ロツテ)を、2013年6月1日~6月30日の間、機内で乗客全員へ提供しました。



4 SCHOOL MEAL PROGRAM

学校給食プログラムの持続可能性

TABLE FOR TWOによる学校給食の支援も6年目を迎え、給食を提供するだけでなく、食料生産のサポートや栄養に関する啓発活動も実施しています。

SCHOOL GARDEN 学校菜園プロジェクト

サハラ以南アフリカの3ヶ国（エチオピア、ルワンダ、タンザニア）、東南アジアに位置するミャンマーにて、学校菜園プロジェクトを支援しています。給食に必要な食材の一部を学校で生産することにより、外部からの経済的援助に依存しすぎない学校給食運営の仕組みを形成することを目的としています。同時に生徒たちが、適正な農法を学ぶ機会となり、子どもたちが学んだ知識を家庭に持ち帰り、地域全体への波及が期待されています。

NUTRITION EDUCATION 栄養教育プログラム

コミュニティ向けの目指す栄養教育プログラムの支援を、2013年1月~2014年2月の期間、アフリカ10地域にて行いました。インフラ整備や食物の現物支給ではなく、実践的かつ栄養改善につながるプログラム（コミュニティ菜園の設立・指導、健康的な調理法のデモンストレーション、また地域の保健師や教師に栄養と食に関するトレーニング）を実施しました。



5 TABLE FOR TWO TEAM - 団体概要 -

TABLE FOR TWOが届ける先進国での健康的な食事、そして開発途上国での温かい給食。これらは、TFTを支えてくださる方々の力無しで成し遂げられるものではありません。TABLE FOR TWOの活動を支えてくださる方々をご紹介します。



TABLE FOR TWOを支えてくださる方々

パートナー

パートナー企業には運営資金をご支援いただいています。TABLE FOR TWOの輪を広げ、社会事業を育成するために、力強いご支援をいただいています。



アンバサダー

アンバサダーの方々には、様々な場面でTFTの活動についての発信をサポートいただいております。



内田 恭子 様(キャスター)



ANGELA 様 (モデル)



桐島ローランド 様
(写真家)

社会人サポーター

有志の社会人サポーターの皆さんは本業を持ちながら、勤務時間外に様々なアイデアとスキルを駆使して、TFTの活動を支援してくださっています。

またセールスフォース・ドットコム ファンデーションと株式会社資生堂の社員の皆さんに、ニュースレター発送作業をお手伝いいただきました。

プロフェッショナル・サポーター

プロフェッショナル・サポーターの皆さんに、法務、財務、ウェブ構築などの専門的な分野で、ご支援いただいています。

【法人】

セールスフォース・ドットコム ファンデーション
・Salesforceライセンスを無償提供いただいています



dentsu

株式会社電通

・PR活動や、各種企画のクリエイティブアイデアでご協力いただいています

株式会社電通レイザーフィッシュ

・iPhoneアプリ「Table For Two」の
企画・プロデュースをしていただきました

DENTSU razorfish.

foo.log株式会社

・iPhoneアプリTable For Twoを開発していただきました

foo.log

【個人】

渡辺 伸行 様 /TMI総合法律事務所 弁護士

佐藤 俊司 様 /TMI総合法律事務所 弁理士

山田 薫 様 /TMI総合法律事務所 弁理士

相澤 光江 様 村瀬 悟 様

/ピンガム・マカッチェン・ムラセ外国法事務弁護士事務所 坂井・三村・
相澤法律事務所(外国法共同事業) 弁護士

鎌田 幸子 様 /司法書士

佐佐木 由美子 様 /社会保険労務士

林 万里子 様 /税理士

真根井 靖嘉 様 /デザイナー

Eric Choo 様 /WEBプログラマー

飛澤 智則 様 /WEBプログラマー

(役職等は2014年5月現在)

TABLE FOR TWO運営体制の拡充

アドバイザー

アドバイザーの方々にはTFTの戦略、運営に関するご相談をさせていただき、アドバイスを頂戴しております。

石倉 洋子	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授
川口 順子	前参議院議員 元外務大臣
黒川 清	元内閣特別顧問
小泉 泰郎	ゴールドマン・サックス証券株式会社 投資銀行部門 資本市場本部 マネージング・ディレクター
古森 剛	マーサージャパン代表取締役社長
高木康裕	菓子工房アントレ シェフパティシエ
三國 清三	シェフ、株式会社ソシエテミクニ代表取締役

グローバルアドバイザー

グローバルアドバイザーの方々にはTFTの海外展開についてのご相談をさせていただき、アドバイスを頂戴しております。

Ayman Maamoun Tamer	Tamer Group 会長
Victor Chu	First Eastern Investment Group 会長
竹中 平蔵	慶應義塾大学教授 グローバルセキュリティ研究所所長

創設者

TFT創業者の3名です。TFTのあらゆる活動に対する協力と、理事会における重要な意思決定に対するアドバイスをを行います。

近藤 正晃	ジェームス Twitter Japan株式会社代表取締役会長 Twitter社副社長／一橋大学客員教授
堂前 宣夫	株式会社ファーストリテイリング 上席執行役員
古川 元久	衆議院議員

評議員

評議員はTABLE FOR TWOの趣旨に賛同し、ご自身の専門知識やご経験、ネットワークを活かし、TFTにご助力くださる皆様です。TFTの日本国内での事業拡大や、グローバルでの活動拡大に貢献いただいております。

大塚 太郎	大塚倉庫株式会社 代表取締役社長
島田 久仁彦	株式会社KS International Strategies 代表取締役 環境省参与
松崎みさ	株式会社アシモード 代表取締役 一般社団法人日本ナチュラルビューティスト協会 理事長

海外展開 諮問委員会

外部の専門家によって構成され、TFTの海外チャプターの設立・運営についてのアドバイスを、理事会に対して行います。

小島 秀晴	KPMG LLP ディレクター
齋藤 太郎	株式会社ドフ 代表取締役社長
佐藤 俊司	TMI総合法律事務所 弁理士
渡辺 伸行	TMI総合法律事務所 弁護士

支援先選定 諮問委員会

外部の専門家によって構成され、TFTの支援先選定についてのアドバイスを、理事会に対して行います。

田口 陽子	クロスフィールズ 東南アジアプログラムコーディネーター
徳末 明子	笹川アフリカ協会 プログラム・オフィサー

5 TABLE FOR TWO

参加団体一覧①

企業

【建設業】

日建設計総合研究所
鹿島建設株式会社
株式会社日立製作所 インフラシステム
グループ インフラシステム社
千代田化工建設株式会社
新日鉄エンジニアリング株式会社
清水建設株式会社
大成建設株式会社
ダイダン株式会社

【食料品】

アサヒビール株式会社
株式会社ニチレイ
株式会社ニチレイフーズ
カバヤ食品株式会社
春日井製菓株式会社
味の素株式会社
日本たばこ産業株式会社
キューピー株式会社
キリンホールディングス株式会社
キリンビール株式会社
キリンMCダノンウォーターズ株式会社
カルピス株式会社

【水産・農林】

有限会社丸浅苑

【パルプ・紙】

住化加工紙株式会社

【繊維製品】

帝人株式会社
株式会社ワコール

【化学】

帝人ファーマ株式会社
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
積水化学グループ
住友化学株式会社
コニシ株式会社
住友化学労働組合

朝日化学工業株式会社
住化アルケム株式会社
住友ダウ株式会社
住化カラー株式会社
住化農業資材株式会社
株式会社トクヤマ
株式会社資生堂
花王株式会社
JSR株式会社
住友スリーエム株式会社
山形スリーエム株式会社
株式会社カネカ
株式会社イーテック
昭和電工株式会社
NTN精密樹脂株式会社
株式会社悠香
積水樹脂株式会社
株式会社三菱ケミカルホールディ
ングス
三菱化学株式会社
三菱樹脂株式会社
三菱レイヨン株式会社
積水フィルム株式会社

【ガラス・土石製品】

日本ガイシ株式会社
旭硝子株式会社
日本特殊陶業株式会社
TOTO株式会社

【医薬品】

大塚製薬グループ
第一三共株式会社
アボット ジャパン株式会社
田辺三菱製薬株式会社
サント株式会社
大日本住友製薬株式会社
白鳥製薬株式会社

【ゴム製品】

マルヤス工業株式会社

株式会社ブリヂストン

【金属製品】

株式会社ハタノ製作所
SEIビジネススクリエイツ株式会社
NGKファインモールド株式会社
NGKメテックス株式会社

【非鉄金属】

住友電気工業株式会社
株式会社フジクラ

【機械】

三菱重工業株式会社
NTN株式会社
株式会社NTN金剛製作所
株式会社NTN三雲製作所
村田機械株式会社
グローリー株式会社
キャタピラー・ジャパン株式会社
豊田ブレイキ工業株式会社
シミズ工業株式会社
CKD株式会社
日立建機株式会社
株式会社キッツ

【電気機器】

ソニーイーエムシーエス株式会社 浜
松／東海／長野テック
パナソニック電工株式会社
NTTエレクトロニクス株式会社
株式会社アルバック
株式会社日立製作所
株式会社デジタル
大日本スクリーン製造株式会社
ソニー株式会社 仙台テクノロジーセ
ンター
シャープ株式会社

パナソニック株式会社

株式会社村田製作所

オムロン株式会社

パナソニックエコシステムズ株式会社

株式会社日立メディアエレクトロニクス

サンケン電気株式会社

パナソニック株式会社 AVCネットワ

クス社

日本ヒューレット・パカード株式会社

パナソニック株式会社 ホームアプ

リアンス社

パナソニック リビング首都圏・関東株

式会社

東京エレクトロン株式会社

パナソニックライティングシステムズ株

式会社

パナソニックシステムネットワークス株

式会社

トーヤルテクノフロンティア株式会社

株式会社リコー

住友電工デバイス・イノベーション株式

会社

【電気・ガス】

東京ガス株式会社
東京電力株式会社
中部電力株式会社

【石油・石炭】

三菱商事石油株式会社
昭和シェル石油株式会社

【輸送用機器】

ボッシュ株式会社
アイシン精機株式会社
パナソニック株式会社 オートモーティ
ブ&インダストリアルシステムズ社
三菱工業株式会社
トヨタ自動車株式会社
トヨタ紡織株式会社

アイシン高丘株式会社

株式会社エイ・ダブリュ・エンジニアリン
グ

【精密機器】

GEヘルスケア・ジャパン株式会社
日本電子株式会社
株式会社ニコン
ソニーセミコンダクタ九州株式会社
オリンパス株式会社
オリンパスメディカルシステムズ株式
会社
会津オリンパス株式会社
デンソーエレクトクス株式会社
株式会社デンソーウェーブ
青森オリンパス株式会社
日機装株式会社
株式会社栃木ニコン
ソニーエナジー・デバイス株式会社
SDテクノ三協有限会社

【事務用品】

コクヨ株式会社

【その他製品】

トッパン・フォームズ株式会社
株式会社EM生活
トッパン・フォームプロセス株式会社
日本写真印刷株式会社
オルビス株式会社
東都積水株式会社
株式会社東洋製作所

5 TABLE FOR TWO

参加団体一覧②

【倉庫・運輸】

西濃運輸株式会社
日本交通株式会社
日本郵船株式会社
全日本空輸株式会社
キリン物流株式会社
トッパン・フォームズ・サービス株式会社
リコーロジスティクス株式会社
株式会社キユーソー流通システム
遠州鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

【情報・通信】

MS&ADシステムズ株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本電気株式会社
株式会社野村総合研究所
トッパン・フォームズ関西株式会社
株式会社NTTデータ
株式会社住化技術情報センター
株式会社住化分析センター
株式会社コネクシオ
TIS株式会社
パナソニックシステムネットワークス株式会社
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
日本電信電話株式会社
株式会社日立ソリューションズ
株式会社ティーガイア
日本オラル株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
株式会社日立システムズ
NTTコムウェア株式会社
SCSK株式会社
ソフトバンクBB株式会社
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社
株式会社電通国際情報サービス
NTTソフトウェア株式会社
学研グループ
インフォシステクノロジーズ・リミテッド

日商エレクトロニクス株式会社
KDDI株式会社
グリー株式会社
東日本電信電話株式会社
株式会社gumi
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
日本通信ネットワーク株式会社
東京海上日動システムズ株式会社
株式会社インテック

【放送】

日本放送協会(NHK)
株式会社東京放送ホールディングス(TBS)
日本テレビ放送網株式会社
株式会社テレビ東京

【卸売】

伊藤忠商事株式会社
豊田通商株式会社
三井物産株式会社
住友商事株式会社
長瀬産業株式会社
ジェコス株式会社
岡谷鋼機株式会社
三菱商事株式会社
株式会社タケウチ
丸紅株式会社
株式会社美濃忠
リシュモンジャパン株式会社
JFE商事株式会社
伊藤忠マシントクノス株式会社

【小売】

株式会社ファミリーマート
株式会社中村屋
株式会社高島屋
株式会社ラッシュジャパン
株式会社アルビオン
株式会社丸井グループ
ロイヤルホールディングス株式会社

株式会社高崎高島屋
株式会社岐阜高島屋
株式会社米子高島屋
株式会社岡山高島屋
株式会社ファーストリテイリング
株式会社東急百貨店
アスクル株式会社
株式会社大丸松坂屋百貨店
株式会社下関大丸

【銀行】

株式会社りそなホールディングス
株式会社埼玉りそな銀行
株式会社近畿大阪銀行
HSBCグループ
株式会社三井住友銀行
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
株式会社愛媛銀行
株式会社日本政策投資銀行
株式会社百十四銀行
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社あおぞら銀行

【保険】

ブルデンシャル生命保険株式会社
NGKゆうサービス株式会社
ハートフォード生命保険株式会社
第一生命保険株式会社
株式会社スンダイ
東京海上日動火災保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社損害保険ジャパン

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
三井生命保険株式会社
トア再保険株式会社
住友生命保険相互会社
日本興亜損害保険株式会社
キリンエコー株式会社

【証券】

メリルリンチ日本証券株式会社
SMBCFレンド証券株式会社
野村証券株式会社
ゴールドマン・サックス
SMBC日興証券株式会社
株式会社大和証券グループ本社
ドイツ証券株式会社

【その他・金融】

三井住友ファイナンス&リース株式会社
三井住友カード株式会社
株式会社証券保管振替機構

【広告】

株式会社電通

【不動産】

住化不動産株式会社
キリンリアルエステート株式会社
三菱地所コミュニティ株式会社
パナソニックリビング 首都圏・関東株式会社
株式会社電気ビル
東京ガス都市開発株式会社
株式会社リビタ
株式会社ビーオーリアルエステート
DBJリアルエステート株式会社

サンフロンティア不動産株式会社
菱重エステート株式会社

【新聞】

毎日新聞社
朝日新聞社
一般社団法人共同通信社
日本経済新聞社

【出版】

株式会社講談社

【サービス】

株式会社エム・シー・ファシリティーズ
株式会社ホテルオークラ東京ベイ
株式会社ホテルオークラ神戸
株式会社キャリアサポート
ホテル日航東京
グランプラザ中津ホテル
アライドアーキテクト株式会社
株式会社オーグス総研
SAPジャパン株式会社
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社
双日総合管理株式会社
株式会社アンカーネットワークサービス
キリンビジネスエキスパート株式会社
キリンアンドコミュニケーションズ株式会社
日本マイクロソフト株式会社
トッパン・フォームプロセス株式会社
GCAサヴィアングループ株式会社
株式会社神戸ポートピアホテル
株式会社プロトメディカルケア

5TABLE FOR TWO

参加団体一覧③

トッパン・フォームズ・セントラルプロダ
クツ株式会社
内堀商店
株式会社HBA
住友三井オートサービス株式会社
NTTインテリジェント企画開発株式
社
株式会社大和証券ビジネスセンター
株式会社ミウラクリエイト
インターナショナルアシスタンス株式
会社

学校

大妻女子大学
京都学園大学
京都光華女子大学
京都市立芸術大学
花園大学
京都造形芸術大学
明治国際医療大学
株式会社フェイスバレット
京都外国語大学
清泉女学院大学・短期大学
聖心インターナショナルスクール
聖カタリナ大学・短期大学部
国立大学法人熊本大学
学校法人城西大学
千葉大学
お茶の水女子大学
筑波大学
青山学院大学
獨協医科大学
大分大学
宮崎大学
西南学院大学
静岡県立大学
早稲田大学
滋賀医科大学
京都大学
東京外国語大学
徳島文理大学

鹿児島大学
九州大学
福岡工業大学病院
同志社大学
埼玉大学
佐賀大学
愛媛大学
聖カタリナ女子高等学校
三重大学
神奈川大学
東海大学短期大学部
大阪大学
東京工業大学
松本大学
明治大学
武蔵学園
国際基督教大学
桜美林大学
聖心女子大学
九州工業大学
山口県立大学
長崎大学
名古屋大学
西南女学院大学
大阪府立大学
東京農業大学
東洋大学
甲南女子大学
大阪産業大学
学校法人資生堂学園
東京農工大学
北海道武蔵女子短期大学
東京成徳大学・短期大学
中央大学
国立看護大学校
宇都宮大学
文教大学
創価大学
立命館アジア太平洋大学
清泉女子大学
福岡教育大学披露宴
名城大学

千葉商科大学
共立女子大学
津田塾大学
大阪市立大学
東京医科歯科大学
日本大学
成蹊大学
神田外語大学
東京大学
仙台白百合女子大学
愛知淑徳大学
三輪田学園中学校・高等学校
中京大学
学校法人安達文化学園
日本工学院北海道専門学校
近畿大学
東海大学
横浜国立大学
専修大学
島根県立大学
福岡女学院大学
和洋九段女子中学校・高等学校
千代田女学園中学校・高等学校
大阪国際大学
公立大学法人下関市立大学
聖母女学院短期大学
京都薬科大学
同志社女子大学
佛教大学
北星学園大学
東京経済大学
富山福祉短期大学
十文字学園女子大学
十文字学園女子大学短期大学部
名古屋文理大学
文教大学
兵庫県立大学
日本女子大学
北九州市立大学
関東学院大学
山口大学

官公庁、公的機関

参議院
外務省
経済産業省
文部科学省(中央合同庁舎7号館)
財務省
農林水産省
相模原市職員厚生会
防衛省共済組合
文京区役所職員互助会
国土交通省
特許庁
横浜市職員厚生会
厚生労働省
内閣府(中央合同庁舎4号館)
法務省
茨城県庁生活協同組合
衆議院
国立国会図書館
足立区役所
立川市役所
品川区職員互助会
札幌国税局(札幌第2合同庁舎)
財団法人三重県職員互助会
財団法人京都市職員厚生会
北海道庁留萌振興局
東京港湾合同庁舎
刈谷市役所
長野県庁生協

病院

医療法人社団ワイズレディスクリニック
飯沼病院
佐世保中央病院
熊本大学病院／財団法人恵和会
社会医療法人財団白十字会 白十字病
院
社会保険中京病院
茨城県立中央病院
一般財団法人聖路加国際メディカルセ
ンター

栃木県済生会宇都宮病院
社会医療法人財団 白十字耀光リハビ
リテーション病院
済生会八幡総合病院
医療法人永和会
国立国際医療センター
大和市立病院
社会医療法人河北医療財団
一般財団法人信貴山病院

その他団体

埼玉県年金福祉協会 共済会
独立行政法人国際協力機構
社会福祉法人武蔵野
独立行政法人宇宙航空研究開発機構
独立行政法人理化学研究所
信金中央金庫
名古屋住友クラブ
ウェルネス柏
NP0日本食育インストラクター協会
大阪リバーサイドロータリークラブ
日経新聞経堂専売所
麒麟福祉財団
麒麟ビール健康保険組合
全国共済農業協同組合連合会 全国本部
一般財団法人日本興亜スマイルキッズ
パナソニックES集合住宅エンジニアリング
労働組合

披露宴

株式会社イヤタカ
新潟県護国神社 迎賓館 TOKIWA
株式会社寿
ホテルグランドヒルつたや
株式会社オー・ド・ヴィー

参加団体一覧④

小売／宅配

石窯工房アグリ
オイシックス株式会社
有限会社ヴィライブ
株式会社東京正直屋
夢乃膳兵衛
有限会社E.C.プランニング
有限会社新見仕出し弁当
株式会社東京一番フーズ
株式会社ディナーサービス・コーポレーション
株式会社ごちまる
株式会社ニチレイフーズダイレクト
株式会社和合
お弁当 こう月
南魚沼大久保農園株式会社
たっくんのポップコーン
日理株式会社
ウェルブ合同会社
SHOJIN tokyo
株式会社プリサート
Coffee meets Bagels
アネット有限会社
元喜玄氣

その他

株式会社佐藤商会
キリンビバレッジ株式会社
Piece to Peace
株式会社ダイヤモンドヘッズ
株式会社第一興商
有限会社かつば橋まえ田
ネクストキッチン
楽天株式会社

ブルームデザイン
JA全農たまご株式会社
株式会社一休
ジョルダン株式会社
shAIR
株式会社マンマグラッチェ
株式会社プレックス

レストラン、カフェ

ポーラ美術館
陳麻婆豆腐
東京トンテキ
旬菜 まんげつ亭
株式会社梅の花
株式会社名古屋東急ホテル
カフェ・カンパニー株式会社
東京国際ゴルフ倶楽部
有限会社ピッツェリア
国際桜ゴルフ倶楽部
高松国際ホテル
株式会社いんでいら
らーめんえにし
東京庵
リーガロイヤルホテル東京
Green gingre café
有限会社やましち
café causa
株式会社命薬
早稲田大学ユニカフェ125
スペインバル カサ・デ・マチャ
うとらカフェ
株式会社J
台北 和食えん
ロイヤルパークホテル高松
アオテアランギ
沖縄ダイニングカフェ ティーダ
インド料理レストラン シャグン
パパ・ガンブ・シュリンプ
カフェ アマンド
バニトイベール
湯の花茶屋 新左衛門の湯
有限会社colors
MLB café
自然食カフェ GRAN
モワルーズ
ファーストステージ株式会社
札幌サンブラザ
札幌サンブラザ
国際企業株式会社
カレッタ汐留
株式会社サンホテル
はいさいキッチン
株式会社カヤック
有限会社オープンセサミ
ロイヤル高松カントリークラブ
縁さくら
ミールケアげんきっちゃん
DONBURI CAFE DINING bowls
o2カフェ
キングストングリル
FUKU+RE CAFE
征月
FIAT Caffe
FUSIMI M.C BASE
A.P.T. lounge
新和食 到 ～organic&dining～
LIGHTNING CAFE
MJダイナー
東京第一ホテル錦
永平寺禅どうふの郷 幸家
10°CAFE
居酒屋あるばか
Osteria Kotoni
アジャンタ
株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
ステーキ工房西村家
レインボーバードランデヴー
世界のごちそう パレルモ
ミドリカフェ
白石障がい者就労センタースカイ コミュニティキッチンふいーる

FARMHOUSE CAFE
えこりん村
株式会社ホテルオークラ東京
ルヴェゾン ヴェール駒場
ばあーどはうすo勝
銀座スイス 築地店
久寿屋
Belle Table
有限会社テテ
Vegecafe&Dining TOSCA
インド料理 ニューデリー
Ages café
I・TA・ME・SHI
café duri
暗闇坂宮下 青山店
ラポール
natura umie店
讃岐釜揚げうどん丸亀製麺
ukafe
Café & Meal MUJI
葉菜カフェ
Happy Dining あじ戸
ちゃんぽん亭総本家
鶴橋ポジャンマチャ天保山マーケットプレイス店
カフェ オランジュ
keats house 祐天寺
CAFÉ BAR Hobbit
みのりや
小空カフェ
イタリア料理 ジャンカルド
豆食
はちじゅうはち家 アーバンネット店
cafe L'avenir ーカフェ ラブニールー
北部病院 マ・メゾン
風の子スクエア

メディア掲載一覧

新聞

日経産業新聞	1月4日
交通新聞	1月16日
中日新聞	1月17日
毎日新聞	1月22日
朝日新聞	1月23日
毎日新聞	1月24日
日本食糧新聞	2月1日
日本経済新聞	2月5日
仙台経済新聞	2月6日
日本食糧新聞	3月1日
中日新聞	3月25日
神奈川新聞	4月9日
日本経済新聞	4月17日
山梨日日新聞	4月30日
大分合同新聞社	5月9日
日経MJ	5月17日
日本経済新聞	5月24日
京都新聞	6月17日
河北新報	6月27日
立川経済新聞	7月3日
北海道新聞	7月29日
毎日新聞	8月1日
日本食糧新聞	9月6日
神戸経済新聞	10月14日
大阪日日新聞	10月14日
北海道新聞	10月25日
北陸中日新聞	10月26日
朝日新聞	10月26日
中日新聞	10月29日
朝日新聞	11月13日
朝日新聞	12月18日
読売新聞	12月18日

計32回

雑誌

ソトコト	1月号
関西ウォーカー	1月5日号
CNN ENGLISH EXPRESS	3月号
致知	3月号
日経ビジネスAssocie	3月号
翼の王国	3月8日号
プレジデントFamily	4月号
ブレーン	4月号
日経ビジネスAssocie	4月号
alterna	4月号
早稲田理工PLUS	2013年号
致知	5月号
月刊「アイ・エム・プレス」	5月25日号
I. m, press	6月25日
NIKKEI DESIGN	7月号
OZ plus	7月27日号
alterna	7月28日号
週刊東洋経済	7月30日号
COURRIER Japon	8月1日号
WAM	9月1日号
non-no	9月20日号
YOMIURI PREMIUM	9月28日号
AERA	9月30日号
月刊広報会議	10月1日号
AERA	11月11日号
AERA	11月25日号
THE 21	12月10日号

計28回

WEB記事

銀座経済新聞	1月4日	マイナビニュース	6月13日
alterna S	1月10日	gooニュース	6月20日
alterna	1月17日	excite.ニュース	7月13日
天神経済新聞	1月18日	livedoor news	7月13日
チャリティーニュース	1月22日	BOOKSCAN	8月1日
Diet club	1月22日	alterna	8月9日
alterna	1月23日	食品流通ニュース	8月12日
DIAMOND ONLINE	2月7日	MOVIE COLLECTION	8月22日
alterna	2月22日	CINEMA TOPICS ONLINE	8月22日
あんふあん	3月21日	exciteニュース	9月26日
alterna×S	4月18日	J-Net21	10月1日
alterna×S	4月19日	CSRデザインマガジン	10月2日
Diet club	4月25日	alternaS	10月10日
マイナビニュース	4月26日	トジョウエンジン	10月11日
チャリティーニュース	4月29日	FRANJA	10月15日
Value Creator	5月1日	Time Out Tokyo	10月16日
Fashionsnaps	5月18日	Huglobe!	10月16日
マイナビニュース	5月20日	alternaS	10月18日
日経Bizアカデミー	5月21日	CSR magazine	10月23日
Sankei Biz	5月23日	alterna×S	11月14日
MY LOHAS	5月26日	alterna×S	11月15日
Bimajin Japan	6月6日	ダイヤモンド・オンライン	11月26日
NEWS.	6月6日	Response	12月2日
Thailand THE NATION	6月6日	Woman Type	12月20日
		roomie Our Daily Happiness	12月22日

計51回

ラジオ

bayfm THE PRESENT	5月16日
J-WAVE SELECTION HOPE	6月30日
ON THE EARTH	
J-WAVE SPECIAL HOPE	10月14日
ON THE EARTH	
J-WAVE WONDER VISION	12月1日

計4回

テレビ

エル・ムンド	3月13日
未来世紀ジパング	5月20日
ありがとうって言われる仕事	5月29日
～ソーシャルビジネス2013～	
佐藤隆太の地球元気!	7月26日
PEOPLE MAGNET TV	7月27日
王様のブランチ	11月16日

計6回



財務報告

2013年1月1日－12月31日（単位：千円）

(1) 収入		144,205
1. 給食事業寄付金	127,619	開発途上国、被災地の食料のための寄付金
2. 給食室事業寄付金	4,041	給食室建設のための寄付金
3. 啓発事業	2,858	講演料、イベント参加費等
3. 運営寄付金	9,512	
4. 会費・入会金	140	
5. その他	35	

(2) 支出		146,924
1. 給食事業寄付金	102,095	開発途上国、被災地の食料に対する寄付金（※次頁 表1参照）
2. 給食室事業寄付金	3,233	開発途上国の給食室建設に対する寄付金（※次頁 表1参照）
3. 啓発事業経費	1,799	イベント開催費（会場費他）等
4. 人件費・外注費	31,470	人件費（常勤3名、非常勤4名）、外部への業務委託費（海外活動促進費、報告レポート印刷、税理士相談料等）
5. 事務所管理費	3,554	家賃、光熱水費、通信費、リース料等
6. 活動費	4,540	旅費交通費、会議費等
7. その他	234	租税公課、振込手数料等

当期収支差額	△2,719
--------	--------

前期繰越正味財産増加額	39,922
-------------	--------

次期繰越正味財産額	37,203
-----------	--------

今期（第7期／2013年度）は、国内では、主管事業である食堂プログラムに加え、外食業界へのTFTプログラム導入促進など、強固な収入基盤を築くことに注力しました。支出面では、アジアでの支援開始に伴い、ミャンマーで給食支援プログラムを立ち上げるための調査等活動を実施しました。またルワンダでは、給食室を建設するための準備や、完成後の給食提供のための活動費を新たに計上しました。また将来に向けて、海外でのTFT事業の広報、導入促進活動を本格的に開始しました。

その結果、収入合計が144,205千円（前期142,620千円）、支出合計が146,924千円（前期123,287千円）となり、収入はわずかに増えましたが支出が前期と比べて大きく増え、合計で2,719千円の赤字となりました。赤字分は前期繰越金（39,922千円）から充当いたします。

収入及び支出の内訳は以下の通りです。

【収入について】

- 給食事業寄付金は127,619千円となり、前期118,649千円からさらに伸長しました。食堂プログラムや外食店、自動販売機、宅配、小売店の食品などを通じた給食事業による寄付金は、収入全体の9割近くを占める事業の柱であり、毎年順調に増えております。特に日本全国にチェーン展開する外食大手企業が給食プログラムを開始したことから、外食産業における収入が10,065千円となり、前期から6,410千円増（前期比2.8倍）となりました。
- また、新たに「ルワンダにおける給食室建設プログラム」に寄付先を特定した事業を開始したことから、「給食室事業寄付金」という収入項目を設定し、4,041千円の収入を計上しました。
- 運営寄付金は20,688千円から9,512千円へと減額していますが、これは他機関からの不定期の賛助金を含んでおります。

結果として収入合計は前期比1,585千円増の144,205千円となりました。

【支出について】

- 給食事業寄付金（1～2）として102,095千円を支出しましたが、これは前期の94,919千円から7,176千円の増額となりました。
- 収入の項目における説明のとおり、ルワンダでの給食室建設プログラムの建設寄付金として3,233千円を新たに支出計上しております。

財務報告

(表1)
寄付金送金先一覧

提携機関	送金金額
1. 給食事業寄付金 (※1)	102,095
The Millennium Promise Alliance, Inc.	66,407
Kageno Worldwide Inc.	16,099
New Life Community Organization	6,200
Second Harvest Japan	4,024
The Food and Agriculture Organization of the United Nations	2,013
国連WFP	2,010
2014年送金予定額	5,342
2. 給食室事業寄付金 (※2)	3,233
Kageno Worldwide Inc.	2,800
2014年送金予定額	433
3. 合計 (1+2)	105,328

2013年12月31日現在の数値により作成

(前頁つづき)

- 運営管理費(3~6)として41,597千円を支出しました。人件費、外部への業務委託費、事務所賃料、旅費交通費、イベント開催費等が含まれています。
- 人件費・外注費が31,470千円で、前期比で10,228千円増加しました。常勤スタッフの数は前期と同じく3名のままですが、国内外での業務拡大に伴い、非常勤スタッフの勤務時間数が増えたことと、業務委託費が増額したことが主な要因です。
- 事務所管理費については3,554千円となり、前期より57千円減額いたしましたが、今期から会計方法を発生主義に変更したため前払い費用を計上しました。

結果として支出合計は前期比23,637千円増の146,924千円となりました。

なお運営管理費の財源として、1.給食事業と2.給食寄付事業の寄付収入を合算した131,660千円の20%に相当する26,332千円と、3.啓発事業、4.運営寄付金、5.会費・入会金、6.その他収入を合計した12,545千円を充当しました。

【来期への展望】

第8期(2014年度)は引き続き主力の給食事業プログラムを活動の中心としつつ、今後の収入の柱となる新規事業の実現に向けた活動を積極的に行ってまいります。また日本発のTFT事業をグローバルに拡げるために、2015年のミラノ万博でのコラボレーションプログラムをきっかけに、欧州地域での活動を深耕していく所存です。また2009年から活動を展開しているTABLE FOR TWO USAに対して、支援及び連携を強化し、米国でのTFTプログラム拡大を共に目指します。そのため本部事務局の人員体制を引き続き強化していく等、次期繰越財産を有効に活用していく所存です。

- TABLE FOR TWO団体概要 -

正式名称 特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International
設立 2007年10月24日
種別 租税特別措置法第六十六条の十一の二第三項に規定する認定NPO法人 (2010.1.16認定)
WEBサイト <http://jp.tablefor2.org/>

代表理事 小暮 真久
理事 浅尾 慶一郎 - 衆議院議員
須田 将啓 - 株式会社エニグモ代表取締役
世耕 弘成 - 参議院議員
高島 宏平 - オイシックス株式会社代表取締役社
藤沢 久美 - シンクタンク・ソフィアバンク代表
船橋 カ - 株式会社ウィル・シード 取締役会長
古川 元久 - 衆議院議員
松田 公太 - 参議院議員

監事 渡辺 伸行 - TMI総合法律事務所 弁護士
事務局長 安東 迪子
事業局長 小林 智子
決算期 12月31日

【活動内容】先進国でのヘルシーメニュー提供や啓蒙活動等のプログラム実施によって得た寄付を通じての開発途上国への学校給食支援を中核に、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動

【支援国】エチオピア連邦民主共和国、ケニア共和国、タンザニア連合共和国、ルワンダ共和国、南アフリカ共和国、ミャンマー連邦共和国

【実施団体数】 618社・団体(日本国内・2013年12月末日)

【実施形態】

1. 社員食堂プログラム
2. 外食産業・食品小売実店舗プログラム
3. 喫茶・ドリンクメニュープログラム
4. その他食品関連プログラム
5. 食の不均衡改善啓発プログラム